

【症例13】 30歳代男性 耳下腺

画像所見：MRI, CTで左耳下腺術後部に多結節かつ分葉形を呈する境界不明瞭な約35 mmの腫瘤を認める。内部に不均一な造影効果を認める。

臨床情報：15年前に左耳下腺悪性腫瘍に対し、同切除術および術後化学療法を施行。約3年の経過観察後に経過観察を自己中断。左耳下腺部に複数の結節を認め、臨床的に再発が疑われ、穿刺吸引細胞診を施行。

標本作成方法：吸引検体のすり合わせ法

【ミラノシステム選択肢】

- 1 不適正
- 2 非腫瘍
- 3 AUS
- 4 良性腫瘍
- 5 SUMP
- 6 悪性の疑い
- 7 悪性

【推定鑑別診断】

- 1 分泌癌
- 2 粘表皮癌
- 3 腺房細胞癌
- 4 ワルチン腫瘍
- 5 唾液腺導管癌